

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	バドミントンを通じた地域元気プロジェクト ～子供に夢を！地域に元気を！～
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 AC長野パルセイロ・バドミントンクラブ 090-1637-3457
事業区分	教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,743,404 円 (うち支援金：2,124,000 円)

事業内容

- ① チャレンジマッチ ホームゲーム戦
(AC長野VS北海道コンサドーレ札幌)
- ② トップアスリートによる子供向け講習会の開催
- ③ コートマット一式の購入
- ④ 試合や講習会のライブ放送化の実現



【活動の様子】

【目標・ねらい】

- ① 見せるバドミントンを開催
- ② バドミントンを体験してもらう
- ③ ボランティアスタッフの発掘
- ④ 全世界にイベント配信

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① バドミントン関係者でない観戦者が多く試合の観戦とバドミントンの体験を行ってもらった。これを期にバドミントンを定期的に始めるとの声が多く、長野地域のサークルを紹介した。更なるコミュニティーの発展が期待される。
- ② トップアスリートの講習会で多くの参加者が集まり、ボランティアスタッフの発掘とイベント周知ができた。
- ③ 多くの参加者にコートマットを体験してもらえた。
- ④ 全世界へライブ配信を行い、このイベントの動画を届けることが出来た。

※自己評価【B】

【理由】

講習会への参加数の目標達成と、チャレンジマッチ戦での来場者から頂いた感謝の声は評価できるものである。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

Jリーグ繋がり今回開催したが、より多くのチームとホームゲーム戦を行うことで、観戦者数の増加とバドミントンのプロ化、メジャー化に発展しJリーグのように地域が一体となって盛り上がると感じた。次年度はチーム数を増やし、ボランティアを更に増やすこととする。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある